

認知症チェックシートの解説

No.	チェック項目	予想されるリスクの解説	
ものわすれ	1	予約日なのに来院しない。 予約日でない日に突然来院する。	覚えていたはずの記憶を失う、日付の感覚が分からなくなる、などの認知症の記憶障害、見当識障害が疑われる。
	2	診察券を何度も紛失している。	大事な物をしまい忘れる、認知症の記憶障害が疑われる。 (物取られ妄想などに発展することも)
	3	保険証を返却したのに、 「返してもらっていない」と言う。	少し前の記憶を忘れる、認知症の記憶障害が疑われる。
	4	作ったばかりなのに「義歯を無くした、 作ってほしい」と言ってきた。	少し前の記憶を忘れる、認知症の記憶障害が疑われる。
	5	前回の治療のことを覚えていない。	少し前の記憶を忘れる、認知症の記憶障害が疑われる。
	6	お金がなくて治療費が支払えない。	通帳や印鑑を紛失し、銀行でお金を下ろすことができない。 大事な物をしまい忘れる、認知症の記憶障害が疑われる。 (年金を担保に借金をされるなど経済的な虐待の疑いも。)
	7	支払いの際、「財布がない」と 長時間かばんの中を探す。	財布など大事な物をしまい忘れる、 認知症の記憶障害が疑われる。 (物取られ妄想などに発展することも)
理解力・判断力	8	症状を言葉でうまく伝えられない。 何が言いたいのか分からない。	物や人の名前が出てこない、認知症の失語や 理解力・判断力の低下が疑われる。
	9	義歯の上下や左右がわからない。 義歯をうまく着脱できない	義歯の方向が認識できない、義歯の着け外しができない、 認知症の理解力・判断力の低下が疑われる
	10	支払いの際、毎回一万円で 支払いをする。	計算ができない、小銭を数えられない、同時に二つのことが できない、認知症の理解力・判断力の低下が疑われる。
	11	服装が季節に合わない、 着方がおかしい。	季節の感覚がなくなる、着方が分からない、 認知症の見当識障害や失行が疑われる。 (介助が必要なのに放任されているネグレクトの疑いも)
やる気消失・うつ傾向	12	表情がない、または乏しくなった。	認知症の症状として、無気力になっている。 感情が鈍くなったり、何に対しても興味を示さないなど。 (日常的に身体的・心理的虐待を受けている疑いも。)
	13	治療が必要なのに 受診が滞っている。	認知症やうつなどにより自信を失い、 何をするのも面倒になっている。 (覚えていたはずの記憶を失う、日付の感覚が分からなくなる、 などの認知症の記憶障害、見当識障害も疑われる。)
	14	食物残渣やプラークがひどく付着 していて、適切な口腔ケアが できていない。	認知症やうつなどにより自信を失い、 何をするのも面倒になっている。 (認知機能の低下により、清掃用具をうまく扱えないことも。)
	15	何日も入浴をしていない異臭 が身体からする。	認知症やうつなどにより自信を失い、 何をするのも面倒になっている。 (介助が必要なのに放任されているネグレクトの疑いも)
16	周りの人から「いつも同じ事を聞く」 などの物忘れがあるとされますか。	厚生労働省作成の基本チェックリスト項目から抜粋 それぞれの設問、16.で「1」はい、17.で「1」いいえ、18.で「1」 はい のいずれかを回答した場合、認知症予防や支援 を受ける対象者となる可能性があります。	
17	自分で電話番号を調べて、電話を かけることをしていますか。		
18	今日が何月何日かわからない時 がありますか。		

チェック項目の評価について

まず、1～15のチェック項目について日頃気になった点があればチェックします。該当する箇所があれば追加で、16・17・18の項目について質問をし、どれか一つでも「1」があれば、地域包括支援センターに情報提供を行います。「1」が一つもない場合でも、支援が必要と判断した場合、地域包括支援センターへの情報提供の対象とします。